

## 論理エンジンと入試問題

『論理エンジン』の学習メソッドを使えば、実際の入試問題も楽に解けるようになります。

ここでは、実際の入試問題を使って、解き方の実例を紹介します。

(法政大学の入試問題より)

## 問題

次の問いに答えなさい。

熱を病んで眠っている状態は、スポーツの一形式である。それだけにつらい。また刻々体力を消耗する。そんなことはいうまでもないが、ところでこのスポーツの相手、すなわち敵は誰か？それは自分自身である。そのことがこの取組を八百長めいて、とりとめないものにする。しかし利点としては、勝ち負けに関らず試合を後腐れの無いものに、また私をどんな点でも傷つけない。その点でサツパリしているのである。

いい廻しが堅苦しくなったが、「1」、かぜの御蔭でかなり熱は高くても生命の危険やさしたる病苦もなく、忘我に近い恍惚境にはいり、世間かまわず大っぴらに昼間から夢を見ていられるということは、何たる選ばれた者の特権が万人に与えられているのだろうということが「2」。人はこういう状態を購うために普通酒か麻薬を用いる。しかしその効果はこれほど完璧ではない。

河上徹太郎「風邪熱談義」

問 文中の空欄「1」、「2」にはいる最も適切な言葉を、次のa～gのうちから選べ。

- a 反対に私は
- b 要するに私は
- c これに対して私は
- d かえって私は
- e いいたいのである
- f 試みたいのである
- g いえるのである

## [1] の 考 え 方

内容から**a**、**b**、**c**、**d**は文頭に、**e**、**f**、**g**は文末に来ることが分かる。  
そして、[1]は文頭だから、**a**、**b**、**c**、**d**のいずれか。



**a**、**b**、**c**、**d**すべてに「私は」とあるので、  
「私は」を[1]に入れると単なる接続語の  
問題に。



空欄[1]の直前の「いい廻しが堅苦しく  
なったが」とは、今まで説明したことが難し  
かったから、「いい廻しが堅苦しくなった  
が」と言って、次に同じことをもっと分かり  
やすく説明する、ということ。

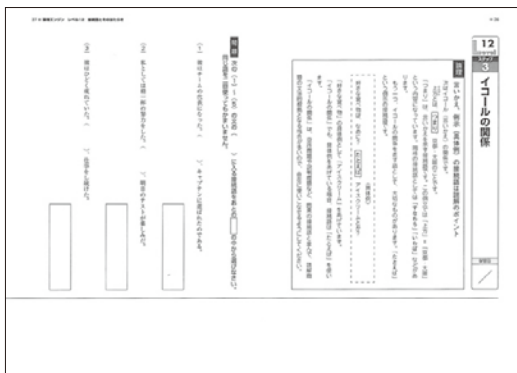


つまり、論理エンジンでいう「イコールの  
関係」。イコールの関係を示す選択肢は、  
**b**の「要するに」のみ。

解答

**b**

【参考】論理エンジンレベル 12 ステップ 3



## [2] の 考 え 方

**e**「……ということがいいたいのである」、**g**「……ということがいえるのである」の二つで迷う。



このような場合、言葉の規則から考える。  
**e**、**f**、**g**は述語。述語を決めるのは主語。  
●「いいたい」は願望だから主語は人間。  
●「いえる」は「こういうことがいえる」という  
ように使うから、主語は人間ではない。  
つまり、この問題は「一文の主語は何か」  
を問う、論理エンジン・レベル1の問題。



空欄直前の言葉「……万人に与えられて  
いるのだろうということが」の「が」が主語に  
見えがちだが、これは目的語(例:「私はこう  
いうことがいいたい」の「が」は目的語)。  
一文をつかまえると、空欄[1]に主語の「私  
は」が隠されていることに気づく。よって述  
語は「いいたい」となる。

解答

**e**

【参考】論理エンジンレベル 1 ステップ 1

